昭和27年9月25日
第三種郵便物認可

毒食わば皿まで

つら横着か土屋知事

座談会　汚職福岡県政を語る

財政が苦しい苦しいといいながら県の公金一億円もの大金をツブレかかつた金融会社にあずけ、それで得た一千万円のリベートをタチの悪い秘密工作費につかい、責任のすべてを腹心の部下にかぶせてノウノウと居坐りを策している土屋福岡県知事、しかもその後反省の色を見せるどころか第二、第三の汚職のニオイすらするというのでは県民でももはやこれ以上ガマンができないというのが本当のところであろう。

果然県民協の総力をあげて、全国でもまだ例のない知事リコール運動がホウハイとしてまき起り、三鉱労組としても先の地方選にまさるとも劣らない決意と態勢で起ちあがることが決定された。汚職土屋がどんなことをやつて来たか、またやろうとしているか、今後われわれはどうしたら好いか、そういつた事柄を、特調委員として事件の当初から活躍した浦川県議はじめ大牟田、荒尾両市議、主婦会代表に集つていただき縦横に解明して頂いた。以下その座談会

出席者

福岡県議　浦川　守
大牟田市議　月足康則
荒尾　〃　益田武利
三池主婦会　藤枝文子
〃　野田ヤエ
〃　南　光子
司会　山田法政部長

人の噂も75日

浦川　汚職県政として一億円の不正融資が白日の下にさらされたのが今年の三月二十七日、以後五カ月たつてみると人の噂も七十五日という諺通り、知事の居座り工作と併行して残念ながら一般の関心も大分うすらいで来たようです。土屋知事自身認めているように戦前のような官選知事ならとつくに首になつているだろうに、民選をいいことにしてあくまでも居すわりを策し禍を転じて福にするのだなどとうそぶいている。特に県政懇談会を各市町村で開き、一身上の弁解にキユウキユウとするなどあれだけの事件を起しておきながら些かの反省もみえない。この際不正は不正、正しいことは正しいこととして明らかにしておかんと今後も汚職をくり返すことになる。その意味でリコール運動をどう思うか、御意見を聞かせて頂きたい。

月足　公選だからこそ辞めるべきだ。禍を福になどとうそぶくあたり私にはむしろ「ツ」を固くして毒くわば皿までと不実腐つているのだとしか思えない。一千万円の裏リベートを秘密工作費につかつたことは県民の福祉とは何のつながりもないどころか、これを黙視すればますます悪の根を深めることになる。新聞も中央の汚職には相当鋭い批判のメスをむけているが、福岡県の場合ひどく手ぬるいのはどうもおかしい。

野田　分会役員の人などとも話したことですが、自分が直接やらなくても、両腕とたのむ幹部が悪いことをした以上知らんなどとはいえない筈です。県政を明るくするためいさぎよく退陣して、あとは県民の裁断にまかせるべきなのに、入院や逃避行で特別調査委員会の喚問をのがれノホホンと居すわるなどもつてのほかです。

笹田　これまで五カ月の空間によつて県民の関心が大分うすらいだという印象をうける。しかし土屋県政に対して大きな不信感情を抱いているのも事実なのだし、まだ一般には知られていない面も沢山あるのだから今後の推進のしかた如何によつては十分成功すると思う。

司会　その後ガラス張り県政などということが標榜されているようですが、その点どうですか？

浦川　結論的にいうと土屋が続くかぎり浜のまさごではないが汚職はつきまとうと思う。月足さんが毒食わば皿までといわれたが全く同感です。七月県会は土屋知事にしてみれば再出発のための重大な意味を持ち、最もガラス張りでなければならない筈なのにまたまたミソをつけた。それをかいつまんで申しますと東京の石神井に女女学生寮がある。総檜造りで建坪六五坪、敷地三、一七五坪で、池には鴨なども降りるという豪壮なもので昭和二十九年杉本知事時代に千五百万円で買つたものですが、通学に不便だとか、附近に痴漢が出るなどの理由で中野に移転することになり、石神井の寮を前に国工大臣をやつたこともある自民党の大物吉野信次氏に随時契約で売り渡すというのですが、その価格がなんと買つた時の値段そのままの千五百万円というのです。二十九年以後の物価、地価の高騰からして幾ら何でも不当に安過ぎるというので私はじめ総務委員会でまつ向から反対し、その時は引つこめたのですが、それを今度またのうのうと出してきた。

それからまた日向神の矢部川総合開発の一環としてダム工事を行うため入札を行つた際、談合の臭気紛々たる入札で麻場組が五億五百万円で落したというのでこれまた猛烈にたたかれた。更に監査委員の選任についても七月県会で遂にきまらなかつたが我々が与野党各一名を主張したに対し知事は定員二名共を与党で占めようとする意図を依然すてていない。

このようにその後の土屋知事に少しも反省の色が見えず、この際どうしても安心して県政を任せられる人に代つて貰わなければと思います。

南　先の知事選で土屋さんは大分金をバラまいたそうですし、モトをとり戻すためにもまだまだこれ位の汚職ではし足りないのでしよう。（笑声）

浦川　保守の選挙費はどうしても金がつきものですからね。なお出納長のあとがまに波多野という人を据えたが、これは元通産局で問題を起して辞めた男で、土屋が浪人時代世話になつたとか、役人あがりでなかなか尻尾は出さんが岩佐（前出納長）よりもつと悪いと定評があり、しかも土屋に対しては忠勤をはげんでいるようです。

益田　すると岸首相と藤山外相みたいな関係ですね。要するに人物本位というより情実や金ヅル人事ですね。

月足　ツの固うなつた鼠度胸といおうか、どうせ来期は上れんのだから与えられた今任期だけはシヤニムニしがみついてできるだけ次期工作をやろうというハラが見えすいている。

野田　以前寺田荒尾市長リコールの時はまだ一般に無関心で、赤のセンドウでもあるかのように思われがちでした。寺田市長の悪いことは認めていても、面倒くさいのと誰が立つても政治家などというものはみな同じようなものだという考え方から直接自分の財布にひびかない限りなかなか真剣には考えて貰えない。今度の場合にも余程情宣をしつかりやらないと難しいと思います。

南　反面話してみるとリコール運動を待つている人も多いようです。

☆☆☆　座談会　☆☆☆

汚職福岡県政を語る

カエルの面に水

まだ汚職がし足りない？

力を合せて汚職追放

リコールを国民運動に

司会　いよいよ核心に入つて来たようですが、最後の決め手としてリコールをどう推進したら好いかについて一つ——

月足　今のところ土屋知事に刑事でアツピールしなければならない。

益田　工事の入札は指名競争入札が常識なのに談合入札をさせ、また監査員の問題にしても与党とも必要でしよう。

汚職追及の手をゆるめるな

福岡県庁の公金不正流用事件も金融連事件も、例によつて例のごとく大山鳴動ネズミ一匹というやつで、ウヤムヤになつてしまうらしい気配だ。現に福岡県庁事件の主要人物とみられていた小林県会議長その他は不起訴だという。これでは何のための逮捕だつたかまるでハナをつままれた形だ。

司法権への政治強権の干渉は、いつも世論にのぼるのだが、例の吉田内閣当時の指揮権発動以来いつもドン舟の魚は大手をふつて逃げ、雑魚だけが網にかかつて、自殺でもするのがオチである。

何億という公金が汚職で消え、さらにそのために巨額のソウ査費用が注ぎこまれ、しかも一度だつてトコトンまで追及された例がなく、アイマイモコのうちに葬りさられたのでは国民は実際やりきれたものではない。そしてそうした妙な現象がちかごろは地方政治にまで波及しつつあり、国家の将来を思うと実にガイタンせざるを得ない。岸首相は汚職、暴力、貧乏の三悪追放を約束したが、それにはまず司法権の絶対独立こそが何より必要であろうし、私利私欲をもつて政府、与党にあつまつている不潔な連中を追放するのも急務である。

（宮浦　X生）

資本主義に汚職はつきもの

益田　署名運動を展開する場合、荒尾としても革新連の政見発表会や座談会等でできるだけアツピールはするが、その他とるべき道は？

山田　具体的には対策委員会で充分検討される筈ですが、となりの福岡県ではこんな問題がおきているということを充分徹底させると共に、福岡県居住の親せきや知人に働きかけて頂く……

藤枝　今度のリコール運動は、保守革新対決の大きな岐路として荒尾も大牟田もなくみんなで真剣に取り組まなければならない。そして組織としてこれを成功させることが労働者発展の一つの鍵になる。闘争の中でも徹底した認識と高度の戦術を必要とする選挙闘争と、リコールを通じて取り組むという意味からも大変重大なことだと思います。

司会　最後に、資本主義と汚職はつきものということ、しかしこれは大衆みんなの力で監視し、清く明るいものにしていかなければならない。すくなくとも同じことを二度とくり返してはならない。その意味で今度のリコール運動は単に福岡県だけの問題でなく、これを全国民的な機運にまで盛り上げるという大きな使命を持つていることをお互いに自覚し、しつかりやつて行きたいと思います。ではこの辺で——お忙しいところどうもありがとうございました。

用語解説

リコール制とは

自治体運営に対する住民の支配的地位を確立するため新憲法は公選者と主な公職者に対する召還要求権をみとめている。有権者はその三分ノ一以上の連署をもつてこれを請求し、選挙人投票による過半の同意があれば都道府県知事、市町村長はその職を失う。

召還権、解任権ともいわれ、選挙された代議員または官公吏がその地位に在任することが不適当だと認められた場合、選挙人が解任し得る権利のことである。

県民の声

去りぎわがたいせつ

福岡県庁汚職事件の真相はどうか、われわれシロウトにはわからない。それは土屋知事が云うように、司直の調べにまつほかあるまい。しかしそれと政治を行うものの良心は別だろう。われわれはこういうときに退陣ぶりを連想する。ひくべきときにひく、これがその人個人の人生だけでなく、一般大衆のためにどれほどよい結果を残すか——石橋さんのあとをうけた人がよい政治をやつているかどうかは別として。

参考人として東京地検から出頭命令が来る。調べられて一日で帰つてこられた。そこまでは知事の云うとおり声明どおりなにもなかつたかもしれない。しかし頑む両腕をタイ捕されたその公的な、道義的な責任はキレイにつぐなわなければならぬ。知事はあるいは非行はなかつたかもしれないが、その責任は知事なればこそ重いのではあるまいか。すべてを明らかにしたうえで、いさぎよく退陣すべきだと思う。副知事のことはオレは知らないでは安心して県政をまかせる気持にはなれない

（大牟田四山、S・Y生）

博多にわか

公金流用事件

「福岡県庁の副知事と出納長の顔が青いけん、検察庁で診察ばしなさつたげな」

「診察の結果どこの悪かといなさつたな」

「一億円もの公金ば食うてチョウ（庁—腸）内のカンプ（幹部—患部）が腐敗しとるけんカンチョウ（官庁—カン腸）ばしつかりせろといなさつた」

◈

「官庁刷新の意気にもえたさすがの土屋知事もこんどの公金流用の不正事件で大きな顔がされんごとなつとるばい」

「そらあたり前たい。三役陣営のうちから汚職者がでとるけん、頭かいてチジコマツトル（知事困つとる！縮こまつとる）」

◈

「副知事と出納長が公金ば一億円も導入預金して、一千万円もリベートばもろうとるげなけん、県民がはらかいて県庁におしかけたげな」

「そらあおしかけるくさ、土屋知事も責任のあるけん、知事コーセン（口銭—公選）ば返しない」